



2017.11.01 No.11

ふれあい

えんしゅうびょういん 情報紙

ステロイド外用剤(塗り薬)の使用法

【担当:薬剤科】

〈はじめに〉

湿疹や虫刺されなど様々な皮膚の疾患に使用される「**ステロイド外用剤**」ですが、“怖い薬”だと思っている方もいるのではないのでしょうか？
特に小さいお子様に使うときには不安に感じることも多いかと思います。

そこで、今回はステロイド外用剤の使用法についてご紹介します。

〈塗る量について〉

ステロイド外用剤を、1回にどれだけ塗ればいいのか悩んだことはありませんか？
塗る量の目安となる**フィンガーチップユニット (FTU)**について説明します。

1 FTU というのはチューブタイプのステロイド外用剤を、**成人の人差し指の先端から第1関節まで押し出した量**のことをいいます。この1 FTU は面積として成人の手のひら2枚分に相当します。これを目安にして塗ると良いでしょう。

また、**お子様に使用する場合の指標は下の表を参考**にして下さい。

○子供に塗る場合に必要な FTU 数

年齢	部位				
	顔 + 首	腕 + 手	脚 + 足	体幹(前)	体幹(後) (臀部を含む)
3～6 カ月	1	1	1.5	1	1.5
1～2 歳	1.5	1.5	2	2	3
3～5 歳	1.5	2	3	3	3.5
6～10 歳	2	2.5	4.5	3.5	5

<ステロイドの強さと身体の吸収率について>

ステロイド外用剤は成分によって強さが異なり、また、使用する部位によって吸収率が違います。そのため、症状の度合いや使用部位、年齢等によって使い分けます。

ステロイド外用剤の強さのランクは、ストロングゲスト（最も強い）、ベリーストロング（非常に強い）、ストロング（強い）、ミディアム（普通）、ウィーク（弱い）の5段階にわけられており、成人であれば顔はミディアム、体はストロングを使うことが多いです。各部位のステロイド吸収率は下の表をご覧ください。

※ 腕の内側を 1.0 とした場合の比率で、数字が大きいほど吸収されやすくなります

頭皮	頬	首	腋	腕(外側)	背中	手の平	陰部	脚	足の裏
3.5	13	6	3.6	1.1	1.7	0.83	42	0.42	0.14

このように、手の平や、足の裏は吸収率が低いのに対し、頬や陰部はかなり高い数値になっています。もし、手の平や足の裏に塗るため処方されたステロイド外用剤を顔や陰部に塗り続けてしまったら、薬が効きすぎて副作用がでてしまう恐れがあります。（虫刺されに使用する場合など、数日程度の使用であれば副作用は起こらないとされています）

そのため、医療機関で「指示された部位」以外に塗らないでください。

<おわりに>

ステロイド外用剤の使用法について、おわかりいただけましたか？
これからステロイド外用剤を使うときは、是非参考にしてみてください。

わからないことや気になることがありましたら、お気軽にスタッフにご相談下さい。



*** 取り上げて欲しい病気や検査、質問等がありましたら、投書箱やよろず相談窓口まで気軽に声をかけてください。企画の参考にさせていただきます。**

【監修:ふれあい編集部】